

GPAI 閣僚宣言 2022

1. 我々、人工知能に関するグローバル・パートナーシップ（GPAI）加盟国の閣僚は、2022年11月21日及び22日に東京で召集された。
2. 人間中心の価値に基づき、尊厳と幸福を守り、信頼できる、責任ある、持続可能な人工知能の利用を促進する OECD AI 原則へのコミットメントを再確認する。
3. 包括的で開発志向の持続可能で平和な社会を支える人間中心の価値と民主主義を保護し、促進することへのコミットメントを確認する。
4. 我々が共有する価値観にそぐわない人工知能及びその他の技術の違法かつ無責任な使用に反対する。
5. フランスが 2022 年のリードチェア、日本が次期サポートチェア、カナダがアウトゴーイングサポートチェアの下での、データトラスト、パンデミック対応及び気候変動に関する作業や、マルチステークホルダーイニシアティブとしての GPAI の強化への努力といった進展と成果を評価する。
6. 新たな加盟国であるアルゼンチン、セネガル、セルビア、トルコを歓迎し、GPAI の共通の価値と目標にコミットするために、我々のマルチステークホルダーコミュニティと協働していくことを確認する。
7. 加盟国政府と専門家間の対話を強化し、プロジェクト資金及び GPAI の持続可能性のための財務メカニズムへの道を開くことを目的とした、GPAI の ToR の改訂を歓迎する。我々は事務局及び GPAI プロジェクトのためのプールファンドを含む GPAI の機能に対する資金調達のための加盟国の更なる関与を歓迎する。
8. マルチステークホルダー専門家グループ（MEG）参加者の貢献及び作業部会が作業計画プロジェクト及び MEG 年次報告書を提供するための関与を歓迎する。これらはいずれも、その成果及び継続中の努力を示しており、GPAI の可視性を高める助けとなる。我々は、現在進行中の AI のトレンドや GPAI で検討すべきトピックについて、GPAI 専門家による提言に留意する。
9. 常設オブザーバーとしての OECD とオブザーバーとしての UNESCO による継続的な支援と関与を歓迎し、この協力を更に強化し、AI の責任ある導入に向けて相乗効果を強化するという我々のコミットメントを再確認する。我々は、特に、GPAI のプロジェクトベースのアプローチを補完する OECD の AI ガバナンスに関する作業部会の創設に留意する。

10. GPAI のマルチステークホルダー・アプローチと、科学、産業、市民社会、労働組合を含む官民の関係者が、我々の共通の目標を前進させる AI ソリューションに取り組む際の協力強化を促進することへのコミットメントを再確認する。

11. 2023 年プロジェクトのための作業計画の実施を期待するとともに、政府と AI マルチステークホルダーコミュニティとの間のより大きな連携を促進するために、加盟国が MEG 専門家と緊密に協力することを奨励する。

12. GPAI が共有する価値を保護し、促進するために、我々と協力するよう各国に呼びかける。我々は、GPAI が他の関連する国際的なフォーラムにさらに関与することを支持する。

13. インドが 2023 年の次期議長に選出されたことを歓迎し、2023 年のリードチェアである日本が GPAI の優先事項の下、AI の展開と市民のエンパワーメントを通じてレジリエントな社会を推進する意思を支持する。